

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 3 月 1 日 (2012.3.1)

【公表番号】特表 2011-509606 (P2011-509606A)

【公表日】平成 23 年 3 月 24 日 (2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報 2011-012

【出願番号】特願 2010-541521 (P2010-541521)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/50 (2009.01)

H 0 4 W 56/00 (2009.01)

H 0 4 W 74/08 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 4 5 3

H 0 4 Q 7/00 4 6 2

H 0 4 Q 7/00 5 7 4

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 1 月 11 日 (2012.1.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

C E L L \_ F A C H 状態における無線リンク同期化及び電力制御のための方法であって

、

R A C H ( R a n d o m A c c e s s C h a n n e l : ランダムアクセスチャネル ) プリアンブルを送信するステップと、

R A C H プリアンブルに応答して受信確認表示を受信するステップと、

F - D P C H ( F r a c t i o n a l D e d i c a t e d P h y s i c a l C h a n n e l : フラクショナル専用物理チャネル ) 受信開始時間によって F - D P C H を受信するステップであって、前記 F - D P C H 受信開始時間は、相対 F - D P C H タイミングオフセットパラメータ及び前記受信確認表示を含む A I C H ( A c q u i s i t i o n I n d i c a t i o n C h a n n e l : 受信確認表示チャネル ) アクセススロットのタイミングに基づいている、ステップと、

D P C C H ( D e d i c a t e d P h y s i c a l C o n t r o l C h a n n e l : 専用物理制御チャネル ) 送信開始時間によって D P C C H を送信するステップであって、前記 D P C C H 送信開始時間および前記 F - D P C H 受信開始時間は、所定のオフセットによってオフセットされる、ステップと

を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記相対 F - D P C H タイミングオフセットパラメータは、前記 R A C H プリアンブルを送信する前に受信されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 F - D P C H 受信開始時間は、256 チップで乗算した前記相対 F - D P C H タイミングオフセットパラメータを所定のチップ数に加算して最初のオフセットを算出し、前記最初のオフセットを前記受信確認表示を含む前記 A I C H アクセススロットの開始に加算することにより算出され、

前記 D P C C H 送信開始時間は、前記所定のオフセットを前記 F - D P C H 受信開始時間に加算することにより算出されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記相対 F - D P C H タイミングオフセットパラメータは、S I B ( S y s t e m I n f o r m a t i o n B l o c k : システム情報ブロック) を介して受信されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 D P C C H の前記送信は、電力制御プリアンブルから始めることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 R A C H プリアンブルは、ランダムに選択されたシグネチャを利用して送信されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

E - D C H ( E n h a n c e d d e d i c a t e d c h a n n e l : 拡張専用チャネル) を介して R A C H メッセージを送信するステップをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

E - D C H フレームの開始は、前記 R A C H プリアンブル送信と前記 R A C H メッセージ送信との間の遅延を最小化するスロットで発生することを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記受信確認表示は、E - D C H ( E n h a n c e d d e d i c a t e d c h a n n e l : 拡張専用チャネル) リソースへのインデックスを表示することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記所定のオフセットは、1024 チップであることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

C E L L \_ F A C H 状態における無線リンク同期化及び電力制御のための W T R U ( W i r e l e s s t r a n s m i t / r e c e i v e u n i t : 無線送受信ユニット) であって、

R A C H ( R a n d o m A c c e s s C h a n n e l : ランダムアクセスチャネル) プリアンブルを送信する手段と、

R A C H プリアンブルに応答して受信確認表示を受信する手段と、

F - D P C H ( F r a c t i o n a l D e d i c a t e d P h y s i c a l C h a n n e l : フラクショナル専用物理チャネル) 受信開始時間によって F - D P C H を受信する手段であって、前記 F - D P C H 受信開始時間は、相対 F - D P C H タイミングオフセットパラメータ及び前記受信確認表示を含む A I C H ( A c q u i s i t i o n I n d i c a t i o n C h a n n e l : 受信確認表示チャネル) アクセススロットのタイミングに基づいている、手段と、

D P C C H ( D e d i c a t e d P h y s i c a l C o n t r o l C h a n n e l : 専用物理制御チャネル) 送信開始時間によって D P C C H を送信する手段であって、前記 D P C C H 送信開始時間および前記 F - D P C H 受信開始時間は、所定のオフセットによってオフセットされる、手段と

を備えることを特徴とする W T R U 。

【請求項 12】

前記相対 F - D P C H タイミングオフセットパラメータは、前記 R A C H プリアンブルを送信する前に受信されることを特徴とする請求項 11 に記載の W T R U 。

【請求項 13】

前記 F - D P C H 受信開始時間は、256 チップで乗算した前記相対 F - D P C H タイ

ミングオフセットパラメーターを所定のチップ数に加算して最初のオフセットを算出し、前記最初のオフセットを前記受信確認表示を含む前記 A I C H アクセススロットの開始に加算することにより算出され、

前記 D P C C H 送信開始時間は、前記所定のオフセットを前記 F - D P C H 受信開始時間に加算することにより算出されることを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

【請求項 1 4】

前記相対 F - D P C H タイミングオフセットパラメーターは、S I B ( S y s t e m I n f o r m a t i o n B l o c k : システム情報ブロック) を介して受信されることを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

【請求項 1 5】

前記 D P C C H の前記送信は、電力制御プリアンプルから始めることを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

【請求項 1 6】

前記 R A C H プリアンプルは、ランダムに選択されたシグネチャを利用して送信されることを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

【請求項 1 7】

E - D C H ( E n h a n c e d d e d i c a t e d c h a n n e l : 拡張専用チャンネル) を介して R A C H メッセージを送信する手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

【請求項 1 8】

E - D C H フレームの開始は、前記 R A C H プリアンプル送信と前記 R A C H メッセージ送信との間の遅延を最小化するスロットで発生することを特徴とする請求項 1 7 に記載の W T R U。

【請求項 1 9】

前記受信確認表示は、E - D C H ( E n h a n c e d d e d i c a t e d c h a n n e l : 拡張専用チャンネル) リソースへのインデックスを表示することを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

【請求項 2 0】

前記所定のオフセットは、1 0 2 4 チップであることを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。